

東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会と 震災からの復興



HOST CITY

令和3年度登録 (3) 第30号 / 令和3年7月発行

【編集・発行】東京都オリンピック・パラリンピック準備局総務部企画調整課

【印刷】株式会社キタジマ

東京都オリンピック・パラリンピック準備局

東日本大震災被災地復興支援映像「2020年と、その先の未来へ」

<https://youtu.be/CjfKNJ5R7L0>

東日本大震災被災地復興支援映像「2020年。東京と東北で会いましょう。」

<http://www.2020games.metro.tokyo.jp/taikaijunbi/kanren/hisaiti/index.html>

熊本地震被災地復興映像「2020年。東京と熊本で会いましょう。」

https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/taikaijunbi/kanren/hisaiti_kumamoto/index.html

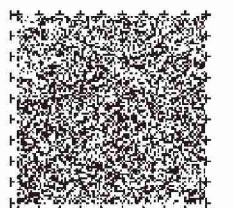


この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



釜石市内の小中学校の児童・生徒によるビッグフラッグでの感謝のメッセージの発信
(岩手日報社提供)

©JHA / Yukihito Taguchi



世界中の方々へ



正式名称

第32回オリンピック競技大会
(2020/東京)

開催期間

2021年7月23日(金)
-8月8日(日)

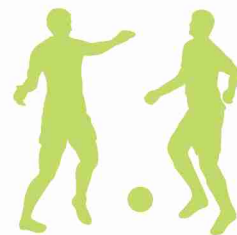
競技数

33競技

復興オリンピック・パラリンピックは、
東京2020大会の原点です。

スポーツの力で被災地に元気と感動を届けます。

そして、様々な困難を乗り越え、復興へと歩む被災地の姿を世界
に発信し、支援していただいた人々に感謝を伝えていきます。



感謝を込めて



福島あづま球場



宮城スタジアム

©公益財団法人宮城県スポーツ協会

ソフトボールオープニングラウンド

7月21日(水) 9:00-17:00 (3試合)
7月22日(木) 9:00-17:00 (3試合)

野球オープニングラウンド

7月28日(水) 12:00-15:00 (1試合)



サッカー女子一次ラウンド

7月21日(水) 17:00-22:00 (2試合)
7月24日(土) 17:00-22:00 (2試合)
7月27日(火) 17:00-22:00 (2試合)

サッカー男子一次ラウンド

7月28日(水) 17:00-22:00 (2試合)

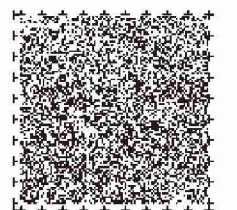
サッカー女子準々決勝

7月30日(金) 17:00-20:00 (1試合)

サッカー男子準々決勝

7月31日(土) 17:00-20:00 (1試合)

- 世界中の方々へ感謝を込めて…………… 1
- 復興オリンピック・パラリンピックの
実現に向けて…………… 3
- 日本を襲った、忘れられない記憶 …… 5
東日本大震災、熊本地震
- 各地域の復興状況…………… 7
岩手県・宮城県・福島県・熊本県
- 復興の軌跡…………… 15
- みんなで話し合ってみましょう…………… 18



復興オリンピック・パラリンピックの 実現に向けて

2011年3月11日、東日本大震災が発生しました。
日本中が混乱する中、2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会の招致を行うかどうかの是非について、議論が重ねられました。

東京都では、「東京2020大会の開催は、大震災から立ち直った日本の姿を示すこととなり、世界中から寄せられた友情や励ましへの返礼となる」、「大会を通じて次代を担う若者たちに夢と希望を贈ることは、日本の将来にとっても大きな意義がある」と考え、招致を決意しました。

被災地の方々からは、「東京2020大会が人々を勇気づけ、復興へ向けての大きな力になる」と、東京都の招致活動に理解を示していただきました。

東京2020大会の開催決定後に発生した熊本地震の被災地も含め、東京都は、「復興オリンピック・パラリンピック」の実現に向けた取組を進めていきます。

被災地と東京2020大会の関わり

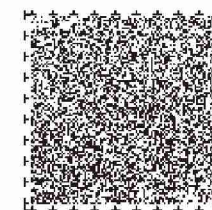
例えば、東京2020オリンピック聖火リレーは、福島県の復興の象徴である「Jヴィレッジ」からスタートしました。

また、福島県の「福島あづま球場」では野球・ソフトボール競技が、宮城県の「宮城スタジアム」ではサッカー競技が、それぞれ開催されます。

このほか、東京都では、復興支援映像の制作・発信や、各県の復興のシンボルとなる樹木を有明アリーナへ植樹する取組など、様々な取組を進めています。



ナショナルトレーニングセンターJヴィレッジ



日本を襲った、忘れられない記憶

熊本地震

2016年4月14日、4月16日。
熊本県を震源とする震度7の地震
が相次いで発生。
死者275人、重軽傷者2,809人に
及んだ。

熊本地震

▶発生日時

前震：2016年4月14日（木） 午後9時26分
本震：2016年4月16日（土） 午前1時25分

▶発生場所

前震：熊本県熊本地方（北緯32度44.5分、東経130度48.5分）
本震：熊本県熊本地方（北緯32度45.2分、東経130度45.7分）

▶震源の深さ・規模

前震：11km・マグニチュード6.5（モーメントマグニチュード）
本震：12km・マグニチュード7.3（モーメントマグニチュード）

東日本大震災

2011年3月11日、三陸沖を震源とする
マグニチュード9.0、最大震度7の地震
が発生。
岩手県・宮城県・福島県を中心とした沿
岸部を最大40mの津波が襲い、死者・
行方不明者の数は約2万人に及んだ。
また、福島第一原子力発電所事故等の影
響により、多くの人々が避難を余儀なく
された。

東日本大震災

▶発生日時

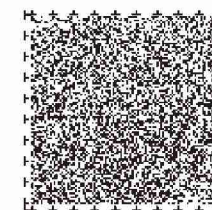
2011年3月11日（金） 午後2時46分

▶発生場所

三陸沖・牡鹿半島の東南東約130km付近
（北緯38度06.2分、東経142度51.6分）

▶震源の深さ・規模

24km・マグニチュード9.0
（モーメントマグニチュード）



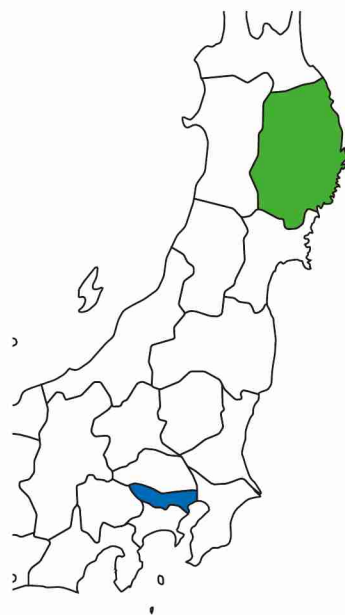
岩手県の被害状況等

- ▶ 死者数 5,145人 行方不明者 1,111人 ※2021年4月30日現在
- ▶ 岩手県の最大震度 震度6弱：大船渡市、釜石市、滝沢村、矢巾町、花巻市、一関市、奥州市、藤沢町
- ▶ 津波の概要
 - 地震発生から30～50分後に東日本の太平洋沿岸に観測史上最大級の巨大な津波が押し寄せました。
 - 最大浸水高 18.3m（釜石市両石湾）
 - 最大遡上高 40.1m（大船渡市三陸町綾里南側湾口）
 - 津波高 [宮古] 3月11日午後3時26分 8.5m以上
 - [大船渡] 3月11日午後3時18分 8.0m以上
 - [釜石] 3月11日午後3時21分 4.2m以上

復興に向けた取組

○三陸鉄道リアス線 全線開通

三陸鉄道は、震災により甚大な被害を受け、全線が不通となりました。復旧には、クウェート国からの救援金を活用し、新車両の導入、駅舎の整備など、多くの企業、団体、個人の皆様からの支援をいただきながら、2014年4月に南・北リアス線の全線で運行を再開しました。同じく震災により不通となっていた旧JR山田線（宮古-釜石間）は、2019年3月23日に三陸鉄道へ経営移管されました。国内の第三セクター



鉄道としては最長となる163km（盛-久慈間）が新たに三陸鉄道リアス線として生まれ変わりました。これにより三陸沿岸が一つのレールで繋がり、住民の利便性が大きく向上します。また、2度の大きな台風被害を乗り越え、三陸鉄道は何度も立ち上がる復興のシンボルとなっています。

○東日本大震災津波伝承館 開館（愛称：いわてTSUNAMIメモリアル）

2019年9月22日、「東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMIメモリアル）」が、陸前高田市の「高田松原津波復興祈念公園」内に開館しました。

館内には、解説パネル、写真、動画、津波で被災した実物資料、被災者の証言など約150点を展示するほか、ガイドンスシアター、津波の実写映像、関係者のインタビュー映像を上映するコーナーがあります。また、解説員が常駐し、国内外から来館した方々の見学をサポートしています。

東日本大震災津波の事実と教訓を伝承するとともに、復興の姿と支援への感謝を国内外に発信していきます。



伝承館を含む施設全景

○ラグビーワールドカップ2019日本大会 岩手・釜石開催

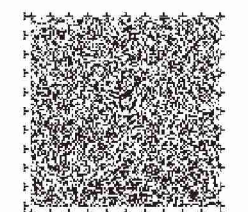
2019年9月25日、東日本大震災津波の被災地で唯一の開催地である釜石市の釜石鵜住居復興スタジアムにおいて、フィジー代表対ウルグアイ代表の試合が行われました。

釜石鵜住居復興スタジアムは、津波で被災した鵜住居小学校と釜石東中学校の跡地に建設され、「復興のシンボル」としても世界中から注目を集めました。

10月13日、開催予定だったナミビア代表対カナダ代表戦が台風19号の影響により中止となりました。試合中止を受けて、カナダ代表の選手やスタッフが、釜石市内で率先して災害ボランティアとして活動してくれました。このことが国内外のメディアで大きく取り上げられ、ラグビーワールドカップを釜石市で開催する意義についても広く発信されました。



カナダ代表によるボランティア



復興の歩み



三陸鉄道全線開通



釜石鵜住居復興スタジアム



フィジー代表対ウルグアイ代表

宮城県の被害状況等

- ▶ 死者数 10,568人 行方不明者 1,216人 ※2021年3月31日現在
- ▶ 宮城県の最大震度 震度7：栗原市
- ▶ 住家被害：全壊 83,005棟 半壊 155,130棟
全国の被害総数の約6割に相当します。
- ▶ 被害額：9兆968億円（うち建築物（住宅関係）5兆1,000億円）



復興に向けた取組

○災害に強いまちづくり

新しい津波防災の考え方で、安全・安心なまちづくりを進めています。

■ 高台移転・職住分離イメージ

安全な高台に居住地を確保したうえで、海岸沿いの地域は産業エリアとして活用し、職住分離を進めています。

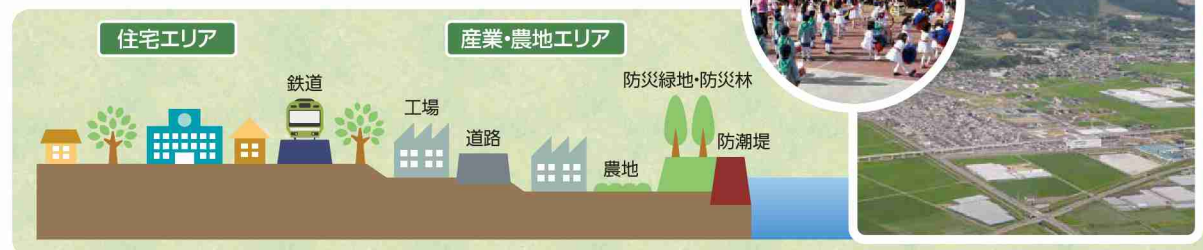
県北沿岸部 平地が少ない三陸沿岸リアス地域



■ 多重防御イメージ

防潮堤のほか、かさ上げた道路や鉄道、防災緑地などにより、居住地を多重に防御し、減災の考えを取り入れたまちづくりを進めています。

県南沿岸部 平地が広がる仙台湾沿岸低平地



外国人観光客宿泊者数の推移 (従業員10人以上の施設)



○広域防災拠点と圏域防災拠点の整備

各種支援部隊の集結や物資の集配などの拠点として、広域防災拠点(仙台市宮城野原地区)の整備を進め、圏域防災拠点(県内7圏域)とともに市町村と相互に補完・連携しながら防災体制の充実を進めています。

○水素エネルギーの利活用

「東北における水素社会先駆けの地」として、災害対応能力の強化や環境負荷の低減、経済波及効果が期待できる水素エネルギーの利活用推進に向けた取り組みを積極的に進めています。

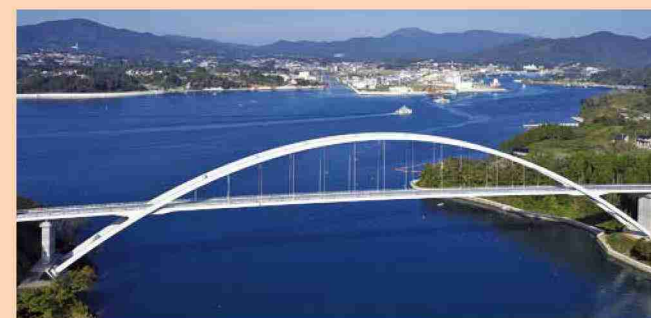
復興の歩み



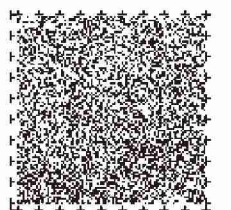
東部復興道路 開通



名取市 閑上地区の まちびらき

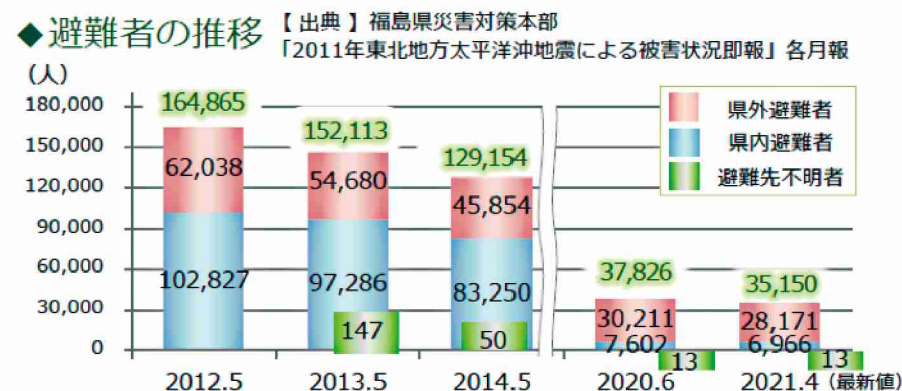


気仙沼大島大橋 開通



福島県の被害状況等

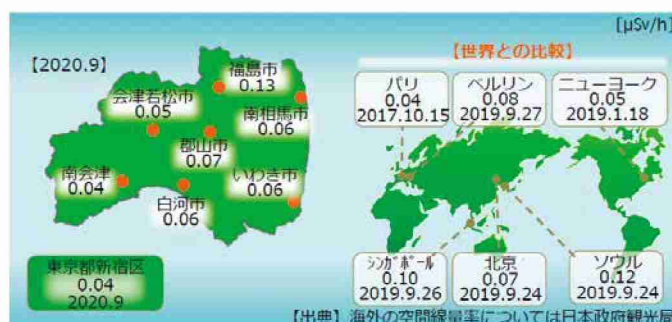
- ▶ **死者数** 4,152人(うち震災関連死2,321人) ※2021年4月30日現在
- ▶ **福島県の最大震度 震度6強**：白河市、須賀川市、国見町、天栄村、富岡町、大熊町、浪江町、鏡石町、楡葉町、双葉町、新地町
- ▶ **東京電力福島第一原子力発電所**
1号機(2011年3月12日)、3号機(2011年3月14日)、4号機(2011年3月15日) 建屋が水素爆発
- ▶ **震災・原発事故後ピーク時の避難者数**
164,865人(2012年5月)
警戒区域、計画的避難区域が設定され、住み慣れた土地からの避難を余儀なくされました。



復興に向けた取組

○放射線量について

県内の空間放射線量は、2011年4月時点に比べ除染や自然衰退等により、大幅に減少しています。県内の面的除染は、帰還困難区域を除き、2018年3月に全て終了しました。



復興の歩み



東日本大震災・原子力災害 伝承館開館 (2020.9.20)



Jヴィレッジ駅開業 (2019.4.20)



JR常磐線全線運転再開 (2020.3.14)

○食品の安全・安心に向けた取組

基準値を超える放射性物質を含む食品を流通させないため、農地の除染を行い、検査体制を強化し安全性を確認しています。これまでの検査で、基準値を超える件数の割合は確実に減少しており、ここ数年の間、多くの品目で基準値を超過したものはありません。

○全国新酒鑑評会

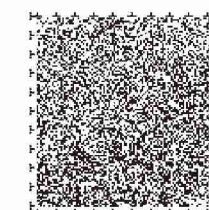
史上初の金賞受賞数8回連続日本一達成!

福島県内の蔵元から32銘柄が入賞、うち17銘柄が金賞に選ばれました。これからも「酒処ふくしま」を国内外へ積極的にPRしていきます。



○福島イノベーション・コースト構想

東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業が回復するため、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクトです。ロボット、エネルギー、廃炉、農林水産等あらゆる分野において、福島を前に進めていくための、様々なチャレンジが始まっています。



熊本県の被害状況等

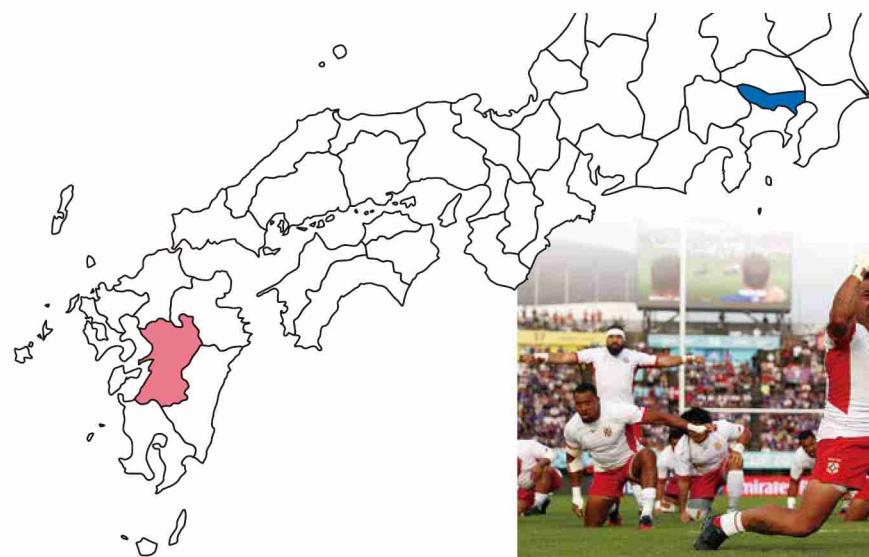
▶死者数 273人 重軽傷者数 2,735人 ※2021年4月13日現在

▶熊本県の最大震度 震度7：益城町、西原村

▶熊本地震の概要

2016年4月14日午後9時26分に熊本県熊本地方で、最大震度7の地震が発生し（前震）、その約28時間後の4月16日午前1時25分に同地域を震源とする、最大震度7の地震が発生（本震）しました。一連の地震活動において、震度7が2回観測されたのは、現在の気象庁震度階級が制定されてから初めてのことです。

また、2度の震度7に加え、震度6強が2回、6弱が3回記録され、さらに発生から5日間での有感地震は2,000回にも達しました。過去の直下型地震と比較して、長期にわたり規模の大きな余震が頻発したことが熊本地震の特徴です。



復興の歩み



熊本城



ラグビーワールドカップ
2019日本大会



2019女子ハンドボール
世界選手権大会

復興に向けた取組

○阿蘇へのアクセスルート回復と「麦わらの一味」の像の設置

熊本地震以降、不通となっていたJR豊肥本線、国道57号、国道325号（新阿蘇大橋）が開通し、阿蘇への主要なアクセスルートがすべて回復しました。天守閣の復旧を終えた熊本城からもアクセスしやすくなります。



新阿蘇大橋
(2021年3月開通)

また、復興を応援する漫画『ONE PIECE』麦わらの一味の像9体が2021年度中に設置されます。是非創造的復興が進む熊本にお越しくください。



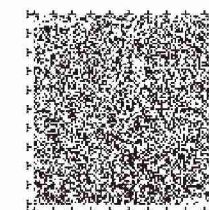
©尾田栄一郎/集英社

○熊本地震震災ミュージアム

熊本地震の記憶や経験を後世に伝えるため、回廊形式のフィールドミュージアムの実現に取り組んでいます。ミュージアムの中核拠点である「旧東海大学阿蘇キャンパス」では、被災した校舎と地表地震断層を震災遺構として保存しています。


○国際スポーツ大会の成功

熊本地震で開催が危ぶまれたラグビーワールドカップ2019日本大会、2019女子ハンドボール世界選手権大会の2つの国際大会には、40万人近い観戦者が来られ、大成功を収めました。この大会を通じて、創造的復興が進む熊本の姿やいただいた支援に対する感謝の気持ちを国内外に発信することができました。

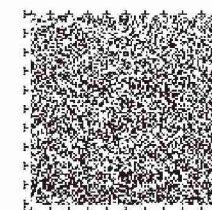


復興の軌跡

■ 岩手県 ■ 福島県
■ 宮城県 ■ 熊本県

2011年	3月11日	東日本大震災発生 ■ ■ ■	
	4月29日	東北新幹線が全線復旧 ■ ■ ■	
2012年	8月20日	JR気仙沼線がバス高速輸送システム (BRT) による運行開始 ■	
2013年	9月 8日	東京2020オリンピック・パラリンピック開催決定	
	11月 3日	東北楽天ゴールデンイーグルスが球団創設以来初の日本一 ■	
2014年	4月12日	JR釜石線花巻～釜石駅間でSL銀河が営業運転を開始 ■	
2015年	3月 2日	ラグビーワールドカップ2019日本大会の開催都市に岩手県・釜石市、熊本県・熊本市など12都市が決定 ■ ■	
	4月 8日	県立中高一貫校「ふたば未来学園高等学校」が福島県広野町に開校 ■	
2016年	1月27日 (~21日、2月20日~23日)	第71回国民体育大会「希望郷いわて国体冬季大会」を開催 ■	
	4月14日、 4月16日	熊本地震発生 ■	
	4月27日	九州新幹線が全線復旧 ■	
	10月 1日 (~11日)	第71回国民体育大会「希望郷いわて国体本大会」を開催 ■	
	10月22日 (~24日)	第16回全国障がい者スポーツ大会「希望郷いわて大会」を開催 ■	
2017年	3月 3日	「南三陸さんさん商店街」が本設移転し開業 ■	
2018年	8月19日	釜石鵜住居復興スタジアムが完成 ■	
	11月30日	漫画「ONE PIECE」との熊本復興プロジェクトで、ルフィ像設置 ■	
2019年	3月10日	気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館開館 ■	
	3月23日	三陸鉄道「リアス線」全線開通 ■	
	4月 7日	気仙沼大島大橋開通 ■	

	4月20日	Jヴィレッジ営業全面再開及びJヴィレッジ駅開通 ■	
	5月26日	名取市閑上地区まちびらき ■	
	8月 1日	熊本地震震災ミュージアム中核拠点「旧東海大学阿蘇キャンパス」公開 ■	
	9月20日 (~11月2日)	ラグビーワールドカップ2019日本大会開催 ■ ■	
	9月22日	東日本大震災津波伝承館開館 ■	
	10月 5日	熊本城の特別公開が開始 ■	
	11月30日	東部復興道路開通 ■	
	11月30日 (~12月15日)	2019女子ハンドボール世界選手権大会が熊本県で開催 ■	
	2020年	3月 4日	東京電力福島第一原発が立地する福島県双葉町で、避難指示区域が一部解除 ■
		3月 7日	福島水素エネルギー研究フィールド開所 ■
3月14日		JR常磐線が全線で運転を再開 ■	
3月31日		福島ロボットテストフィールド全面開所 ■	
8月 8日		JR豊肥本線全線開通 ■	
2021年	9月20日	東日本大震災・原子力災害伝承館開館 ■	
	10月 3日	国道57号の北側復旧ルート及び現道部が同時に開通 ■	
	3月 7日	新阿蘇大橋開通 ■	
	3月24日	熊本城天守閣の復旧工事完了 ■	
	3月25日	東京2020オリンピック聖火リレーが、Jヴィレッジをグラウンドスタート ■	
	6月 6日	みやぎ東日本大震災津波伝承館開館 ■	
	7月23日	東京2020オリンピック開会式	
	8月24日	東京2020パラリンピック開会式	



一歩ずつ、前へ



大災害を乗り越えて、被災地は、復興に向けて進んでいます。

スポーツの持つ力を信じて。

東京都はこれからも、被災地とともに歩み続けます。

みんなで話し合ってみましょう

震災から学び、未来を見据えて、私たちにできることは、何でしょう。
被災地の復興に私たちができることは、何でしょう。

2011年3月11日金曜日 午後2時46分、あなたは何をしていたか、憶えていますか。

- あの日、地震や津波の被害についてメディア各社が一斉に行った報道をあなたはどのような気持ちで見えていたでしょうか。
- あの日、のことを家族と話し合ったことはあるでしょうか。
- そして現在、あなたが心に想っていることは…。

震災で被害を受け、“助け”を必要とする人に、何ができるでしょう。

- 支援物資を送る際、どのようなことに気を付けたらよいでしょうか。
- 義援金や支援金を送る際、どのような方法が取れるでしょうか。
- 震災ボランティアとして、どのようなことができるでしょうか。
- 被災地の産業を再建するためには、どのようなことができるでしょうか。

大災害が起こったとき、何ができるでしょう。

今日、今この時間にも、地震など大災害が起こるかもしれません。

- あなたは、大災害に備えて、現在何か取り組んでいますか。
- 災害が起きる前に備えとして何ができるか、災害が起きた時、どのような行動をとれるか(建物の中で、外で)、考えてみましょう。

東日本大震災から10年経った今、あなたが世界に伝えたいことは何でしょう。

東日本大震災、熊本地震を経験した日本で、オリンピック・パラリンピックを開催する意義を、あなたは、何だと考えますか。

